

各教員が保有する学位及び業績

教員名(フリガナ)	伊東一誉(イトウハナヨ)			
職名	専任講師			
現在の専門分野	美術教育, 造形表現			
学位 / 授与機関	博士(教育学) / 東京学芸大学大学院連合学校			
免許・資格	中学校・高等学校第一種教員免許(美術・工芸)			
研究業績	著書・学術論文等の名称	単・共	発表年	発表雑誌等名称
	幼児期から青年期に至る描画表現のつまずきの検討—意欲の変化に見るつまずきの時期と要因—	共	2023	美術教育学研究 第55号 大学美術教育学会
	美術表現の創作プロセスにおけるつまずき要因の構造分析—自己評価と他者参照に基づくつまずきと苦手意識—	共	2023	美術教育 307号 日本美術教育学会
	「造形活動における『つまずき』要因の検討—自己評価・他社意識・身体性の関連—」	共	2022	美術教育学研究 第54号 大学美術教育学会
	「造形活動における『つまずき』構造の位置づけと教育的支援の可能性—質的統合法(KJ法)による分析—」	共	2022	美術教育 306号 日本美術教育学会
	「City and Country School(N.Y.)の米国公立校における『美術経験』共有の試みと史的考察～Caroline Prattによる芸術教育研究の一環としてのAfter Program～」	単	2020	美術教育学研究 第52号 大学美術教育学会
	「90年代以降のCity and Country School(N.Y.)に見る美術経験を中心とした学習の変容～Caroline Prattの史的考察における一考察として～」	単	2019	美術教育学研究 第51号 大学美術教育学会
	「City and Country School(N.Y.)の統合的な授業づくり～『美術と他の学習領域』をめぐるパートナーシップの史的考察」	単	2019	日本美術教育研究論集 第52号 日本美術教育連合
	「アイスランドのGardabrgと米国City and Country School(N.Y.)の交流～子どもの早期教育における「表現」領域の模索～」	単	2018	日本美術教育研究論集 第51号 日本美術教育連合
「20世紀初頭アメリカにおけるCity and Country School(N.Y.)の実践～New Yorkの芸術運動期における「創造性」教育～」	単	2018	美術教育 第300号 日本美術教育学会	
社会的活動・受賞歴等	2023 科研費(若手研究)取得 研究課題名「子どもの描画プロセスに生じるつまずきの解明:美術表現を促す視覚メディア教材の開発」			
	2008 千葉支部二紀展 奨励賞受賞、			
	2009 千葉支部二紀展 奨励賞受賞			
	2010 千葉支部二紀展 佳作賞受賞			
	2011 うしくビエンナーレ展 入賞			
	2012 FINE ART EXIBITION2012			
	2013 FINE ART EXIBITION2013			